

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金
 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)
 総括研究報告書

薬局における口腔の健康維持・増進を推進する薬剤師対象教育プログラムの開発
 および地域住民を対象とした口腔の健康サポート事業の有用性評価

研究代表者 山浦 克典

慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門 教授
 慶應義塾大学薬学部 附属薬局 薬局長
 公益社団法人日本薬剤師会 理事

研究要旨

口腔の健康問題は多くの全身疾患の原因となり、またそれ自体が健康寿命に影響を与えることが報告されているが、国民の歯科受診率は伸び悩んでいる。健康サポート薬局は地域住民の健康サポートを具体的かつ積極的に行う機能を有しており、地域住民の“口腔”の健康サポートを行い、歯科受診勧奨を勧める上でも、最適な立ち位置にある。我々の調査では、口腔の健康維持・増進に関する薬局薬剤師の知識と自信度は不足していた。そこで、薬局薬剤師に対する口腔の健康サポートに特化した研修プログラムを構築し、薬剤師に対する教育効果と有用性を明らかにした。併せて、口腔の健康サポートを行う上で薬剤師が地域住民に説明するために必要な資材を、多施設介入研究を通じて決定した。当該介入研究では、研修プログラムを修了した健康サポート薬局の薬剤師が口腔の健康サポートを行うことで、地域住民の歯科受診率が改善することが明らかとなった。さらに、文献調査に基づく考察からは、中長期的には健康状態の改善や医療費・歯科医療費の抑制に寄与する可能性も示唆された。これらの結果は、健康サポート薬局の薬剤師による継続的な口腔の健康支援の有効性を裏付けるものであり、今後、健康寿命延伸に向けた施策の一環としての活用が期待される。

<研究分担者>

浜田 将太 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
 医療経済研究機構 研究部

岩田 紘樹 慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門 専任講師

岡崎 光洋 秋田大学大学院 医学系研究科 遠隔医療推進開発研究センター 准教授

<研究協力者>

林 直子 慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門 博士課程
 慶應義塾大学薬学部附属薬局 専任薬剤師

五島 朋幸 ふれあい歯科ごとう代表、日本歯科大学生命歯学部・臨床准教授

志賀 保夫 ビジネス・ブレイクスルー大学院教授、株式会社アイスタット 代表取締役社長

松井 洸 株式会社ツルハホールディングス・学術・DI 担当

白石 愛 熊本リハビリテーション病院 歯科衛生士

田口怜奈 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構・研究員

間井田成美 慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門 博士課程

佐野 敦彦 日本保険薬局協会・医療制度検討委員会委員

A. 研究目的

研究代表者はこれまでの調査研究により、日本の薬局薬剤師は諸外国と比べて、地域住民の口腔関連トラブルに対応することに自信が持てていないことを報告してきた¹⁾。さらに、患者、歯科医師に対する調査研究により、薬局薬剤師が口腔の健康に参画するニーズを明らかにしてきた^{2),3)}。これより、口腔の健康サポートは薬局薬剤師の取組むべき最重要事項の一つと考えられる。

一方で、2015年に策定された患者のための薬局ビジョンにおいて、健康サポート薬局が定義され、その機能として、地域住民の健康サポートを積極的かつ具体的に実施することとされており、口腔の健康サポートもこの中に含まれるべきと考える。しかしながら、これまで薬学教育モデル・コア・カリキュラムには口腔領域は含まれておらず、薬剤師が業務において口腔ケアに参画することはほとんどなかった。そのため、2022年日本口腔ケア学会も、「薬剤師教育における口腔ケア領域の充実および、臨床の現場における薬剤師の口腔ケアへの参画が重要」とする大阪宣言を発出した⁴⁾。現在のところ、健康サポート薬局が行う口腔の健康サポート事業の有用性に関する研究報告は存在しない。そこで本研究では、健康サポート薬局の薬剤師による口腔の健康サポートイベントによる、地域住民の歯科受診率、口腔の健康状態、さらに医療費に対する効果を検討した。

本研究は2年計画であり、1年目には薬局薬剤師による口腔の健康サポートの医療費・歯科医療費への影響を推計するにあたっての基盤となる情報を得るために文献レビューを行った(分担研究：歯科領域の医療費・歯科医療費に関する文献レビュー)。また、これまでに行った薬局薬剤師対象の口腔ケアに対する認識調査の成果は、本研究の重要な知見となるため、その英語論文化を行った(分担研究：口腔ケアに対する薬局薬剤師の認識に関する先行調査の論文化)。さらに、1年目から2年目にかけて、薬剤師の口腔の健康に関する知識、スキルの向上のための薬剤師研修プログラ

ムを構築した(代表研究：健康サポート薬局の薬剤師を対象とした口腔の健康に関する研修プログラムの構築と実施)。その上で2年目には当該研修を受講した薬剤師による地域住民に対する口腔の健康サポートの有用性に関する無作為化比較試験(代表研究：健康サポート薬局の薬剤師による地域住民に対する口腔の健康サポートの有用性)を行い、その際に使用した資材から、薬剤師による口腔の健康サポートに有用なものを抽出した(代表研究：健康サポート薬局の薬剤師を対象とした口腔の健康に関する研修プログラムの構築と実施)。更に、無作為化比較試験の結果から薬局薬剤師による口腔の健康サポートの医療費・歯科医療費への影響を推計した(分担研究：薬局薬剤師による口腔の健康サポートの医療費・歯科医療費への影響)。

B. 研究方法

1. 健康サポート薬局の薬剤師を対象とした口腔の健康に関する研修プログラムの構築と実施

代表研究報告書(別添4)のとおり。

2. 健康サポート薬局の薬剤師による地域住民に対する口腔の健康サポートの有用性

代表研究報告書(別添4)のとおり。

3. 健康サポート薬局での口腔の健康サポートによる医療費・歯科医療費への影響評価の検討

分担研究報告書(別添4)のとおり。

C. 研究成果

1. 健康サポート薬局の薬剤師を対象とした口腔の健康に関する研修プログラムの構築と実施

代表研究報告書(別添4)のとおり。

2. 健康サポート薬局の薬剤師による地域住民に対する口腔の健康サポートの有用性

代表研究報告書(別添4)のとおり。

3. 健康サポート薬局での口腔の健康サポートによる医療費・歯科医療費への影響評価の検討 分担研究報告書（別添4）のとおり。

D. 考察

本研究により、健康サポート薬局に勤務する薬剤師に対して、口腔の健康サポートの教育研修を行い、口腔の健康の重要性を理解し、イベントの方法を学んだうえで、口腔ケアと観察方法を実習し、更にそれを薬局業務の中で実践することで、口腔の健康に関する知識や自信、対応力が上がり、口腔の健康サポートを行っていく意欲も上がることが明らかになった。更に、薬剤師が主体的に口腔の健康について情報提供、啓発することで地域住民の歯科受診率が上がり、オーラルフレイルが改善する可能性が示唆された。オーラルフレイルと健康寿命の関連から、薬剤師が口腔の健康について地域住民に働きかけることでの健康寿命の延伸に加えて医療費の削減に寄与できる可能性があると考えられた。

E. 結論

本研究で構築した研修プログラムを活用し、薬局薬剤師に対する研修を実施することで、口腔の健康に関する知識および支援に対する自信度の向上が図られることが示唆された。

さらに、選定された啓発資材を用いて地域住民への介入を全国的に展開することにより、歯科医師との連携を通じて歯科健診受診率の向上および健康寿命の延伸に資するのみならず、医療費の適正化にも寄与することが期待される。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Hiroki Iwata, Rintaro Yoshida, Naoko Hayashi, Noriko Kobayashi, Kazuko Fujimoto,

Katsunori Yamaura. Community Pharmacists' Perceptions and Needs Regarding Oral Healthcare Advice in Japan. Keio J Med., 2025. In press.

2. Naoko Hayashi, Mari Yoshida, Narumi Maida, Shingo Kondo, Masanori Ogawa, Hiroki Iwata, Noriko Kobayashi, Katsunori Yamaura. Study on risk factors for aspiration pneumonia associated with dysphagia-inducing drugs. Submitted for publication in Drugs-Real World Outcomes (under review).

2. 学会発表

1. 山浦克典: 歯科領域に期待される薬剤師の役割, 第26回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 千葉, (2024. 6)

2. 山浦克典: 薬学教育モデルコアカリキュラムに謳われた「口腔ケア」を実践する教育を考える, 第9回日本薬学教育学会大会, 東京, (2024. 8)

3. 山浦克典: 次世代薬剤師育成の強化と医療DXの推進, 第57回日本薬剤師会学術大会, 埼玉 (2024. 9)

4. 山浦克典: 薬剤師業務および薬学教育で高まる口腔ケア領域の重要性, 日本がん口腔支持療法学会第10回学術大会, 特別講演, 松山 (2025. 3)

5. 山浦克典: 薬剤が誘発する口腔乾燥と高齢者の口腔内に与える影響, 日本薬学会第145年会ジョイントシンポジウム, 福岡 (2025. 3)

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

I. 引用文献

1. 吉田倫太郎, 岩田紘樹, 小林典子, 藤本和子, 林直子, 山浦克典. 薬局薬剤師による地域住民の口腔の健康維持・増進の取り組みに関する現状及び推進に向けた課題の検討. 日本社会薬学会第39年会, 2021
2. 岩田 紘樹, 藤枝 千尋, 岡崎 光洋, 五島 朋幸, 藤巻 弘太郎, 小林 典子, 藤本 和子, 山浦 克典. 薬局における口腔乾燥の実態調査と症状改善に関する情報提供の有用性. 第1回日本老年薬学会学術大会, 2017
3. Hiroki Iwata, Keisuke Nakamura, Noriko Kobayashi, Kazuko Fujimoto, Naoko Hayashi, Katsunori Yamaura. Most dentists approve of oral health check-ups for local residents at community pharmacies and desire collaboration with community pharmacists. *Drug Discov Ther.*, 16(6) 309-312, 2022
4. 夏目長門: 歯科・口腔外科疾患 最近の動向. In: 今日の治療指針 2023 年版 (福井次矢, 高木 誠, 小室一成編), 医学書院 (東京), 2023, pp1608-1611.